

間伐材の循環する村づくりを考える

～道志村の森林を再生する担い手の育成をめざして～

主催：道志森林再生協議会

横浜の水源地として100年以上の歴史を持つ道志村では、豊かな森林が育む清流を都市部に供給し、一方で村内を訪れる人々への癒し体験、また近年ではCO2吸収による地球温暖化対策などに寄与してきました。しかし、森林資源とりわけ人工林については、自然に任せているだけでは荒廃の道を辿ることになり、維持・安全のための適正な管理が必要となります。「間伐材の循環する村づくり」事業は、豊かな森林環境をつくり、林業を再生するために「担い手（ステークホルダー）」をキーワードとして新たなスタート台に立ちました。中山間地域の森林再生には、上流と下流域が支えあう持続的な活動が求められています。日本一の水源地の郷をめざす道志村の取り組みについて、一緒に考えませんか。

日時：平成24年2月28日（火）午後1時（12:30～開場）

場所：神奈川県不動産会館 5階会議室

（横浜市中区住吉町6-76-3 tel:045-633-3030）

定員：100名（参加費無料）

■プログラム

13:00 開会あいさつ 大田昌博 道志村村長

13:15 基調講演 澤登信子氏

「森林資源を活用して中山間地の暮らしを豊かにする」

14:25 休憩

14:30 山梨県新しい公共支援事業

事業説明・ビデオ上映 事例紹介(2例)

15:20 休憩

15:25 パネルディスカッション

テーマ：「都市ヨコハマと道志村との連携による森林の保全」

コーディネーター：竹林征雄（道志・サステナブル水源会議委員）

パネラー：大田村長 和氣猛仁（神奈川県建協会長）、信時正

人（横浜市・温暖化対策統括本部長）、田中美津江（木netやま

なし推進協議会事務局長）ほか。

16:55 閉会あいさつ

17:00 閉会

17:30 懇親会開催（参加費 3000 円）

19:00 閉会



【講師紹介】澤登信子
ソーシャル・マーケティング&ビジネス・
プロデューサー。
（株）ライフ・カルチャー・センター代表
（財）地球環境財団理事
NPO法人 MORI MORI ネットワ
ーク 理事・事務局長
主な著書：「普通の女達の昭和維新」（ダ
イヤモンド社）「お金を生む女のライフワ
ーク」（主婦と生活社）他、多数

「道志森林再生協議会」

山梨県・新しい公共モデル事業の助成団
体（道志村・NPO 道志・森づくりネット
ワークなど5団体で構成）として、平成2
3～24年度の2カ年間担い手育成事業
に取り組むための組織。

参加申込書

送付先 FAX ()

ご所属・ご氏名

ご住所 ☐勤務先 ☐自宅

〒

参加内容 ☐シンポジウム ☐懇親会 ☐展示の有無（1社1テーブル）

連絡先 電話 () e-mail:

※Eメールでお申し込みの方は、ekawa@mori-energy.jp までお送りください。

■問い合わせ先

株式会社 森のエネルギー研究所（URL：<http://www.mori-energy.jp/>） 担当：大野、江川

〒198-0036 東京都青梅市河辺町5-10-1 セントラルビル2F TEL：0428-28-0010 FAX：0428-28-0037